

R1 アジア第1・第3ゾーン 拡大・会員増強セミナーに参加して

ガバナーエレクト 真鍋 欣良



標記セミナーが、1992年5月27日（拡大セミナー）と28日（会員増強セミナー）、東京高輪プリンスホテルにて開催された。

A. 拡大セミナー

中島保モデレーターより、拡大の意義について説明があり、①会員が増えればRの奉仕が増え、さらに奉仕の内容がきめ細やかになる。②我々が享受しているRの喜びを、他の人にもシェアすることができるようになる。と述べています。また高野RI拡大委員は、本日の目的は、①拡大なくしてRの発展はあり得ないという、認識を深めて頂くこと、②各地区においても、会員がひとしく拡大の重要性を認識するように、計画実施して頂くことである、と要請されました。

拡大と増強は、RI 不断の課題であるので、まず、世界の現況について解説された後、地区分割による拡大促進効果について述べられた。

1990 - 91年度の拡大は、全世界で751クラブ（その会員数22,944名）の増加、うちアジア地域は9,245名（内日本2,239名）であった。

拡大には、人口密度、ロータリアン密度等が当然考慮されるが、視点を変えることにより、時に思わぬ進展をみることがあり、その例として、夜間例会でスタートした甲府シティRC（チャーターメンバー62名）の創立が紹介された。また、会場から、女性会員についての発言があったが、本年3月末における日本の女性会員数は175名で、年々増加の傾向にあり、現在、女性会員の在籍しない地区は、31地区中7地区となっている。

全世界の1クラブ平均会員数は約44名、日本のそれは約58名であるが、都市における大型クラブに課題があるとされている。地域社会の職業横断面を、クラブ内に具現するという職業分

類の理念からいっても、大型クラブは会員増強よりも、むしろもう一つロータリークラブを新設して、会員を、加えるべきではあるまいかとされている。

B. 会員増強セミナー

佐野、中島両モデレーターに続いて伊藤国内委員より、退会防止こそ会員増強の第一歩である、また会員選挙の段階は、着実正確に進めることが大切であり、ローターアクト終了者や女性の入会を考える必要があると関心を喚起された。

実際に10%増強は極めて難しい現状と思われるが、退会者の60%がその理由をあからさまに申し述べていないところに、広く反省が求められます。概ね推察される所、①クラブ活動の沈滞、②プログラムのマンネリ化、③派閥の発生、④食事の問題等が挙げられていることは、ご承知の通りです。

また、古いクラブによく見られる平均年齢の高齢化は、特に若い会員を迎える積極性が要望されます。なお、職業分類の原則や、テリトリーの規約が全く無視されているクラブがあるとか、批判は当然でしょう。

なお、ホテルを会場に使用するクラブが多いので、費用の点で会員数を80~100名にしているとか、或いは会費の負担が現役引退者の重荷になっているなどは考慮を要すると申せましょう。

大型クラブを分割するには、なかなか難しい問題があるようです。現在、最も強調されるべきは、会員の増強責務の自覚であり、各クラブ80名位までは増強に力を入れて下さい。そして80名以上になったら、新クラブ創設を考えて下さいというのが、概ねの結論でありました。